

C-4 作品の実際

1. 絵のアイデアを描きます。

<台湾の子供の平和のイメージ> 「アジアの未来」



*日本の子どものイメージは残念ながら保存してありませんでしたが、スポーツを楽しむ子や、鯨が空を泳いでいるイメージや武器や兵器をゴミ箱に入れている絵などが出されました。

2. それぞれのイメージを合体する



←それぞれの国でアイデアを出した後、相談して大まかな構図を決めます。まず日本側が下書きを描き、それをデジカメにとって台湾に送ります。台湾側はその画像ファイルに、画像処理ソフトで自分たちのイメージを付け加えます。この場合は、平和のイメージの鳩や、花畑、地球などが追加されています。

だいたいの構図が決まった後、絵を描き始めます。

3. 日本側が先に絵を描きます(1 2月)



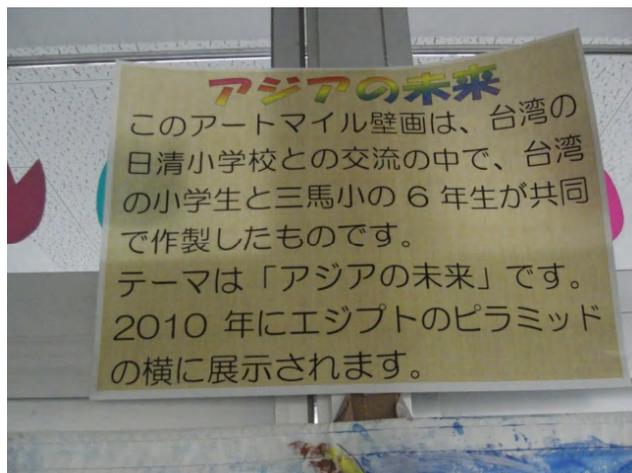
4. 次に台湾に絵を送り、残りの部分を描いてもらいました



5. 台湾で展示されました(2月)



6. 日本に戻ってきたあと、学校で鑑賞しました。その後ジャパンアートマイルに絵を送り、2010年にエジプトで展示されることになっています



7. その他

絵の説明 空飛ぶ鯨が下界から武器や汚れたものを吸い込み、背中から夢のシャボン玉にしてとばしています。虹の上には台湾と日本の子供が交互に並んでいます。

8. 台湾とのTV会議の様子(台湾側の画像)



9. 日本から送ったテディベアが戻ってきました

